

毎週日曜発行
2024 6/30

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



山形県長井市はアフリカの南東部にある国タンザニアと交流が盛んです。2021年東京五輪・パラリンピックで、同国のホストタウンに登録されました。市にはスポーツ国際交流員がいて、代々、同国の出身者が務めています。4代目の交流員として活躍するムフガレ・エリックさん(36)を紹介するよ。

ムフガレ・エリックさん(36)

タンザニア出身／スポーツ国際交流員

ムフガレさんは陸上とサッカーの指導者です。長井市内の陸上スポーツ少年団で週2回、子どもたちに走り方を教えた後、市民対象のサッカー教室を開いたりしています。コミュニティセ

ンターに出向いて、高年齢者と体操もします。「いろいろな年代の人たちと、一緒に体を動かしています。楽しいのが一番です」と話します。

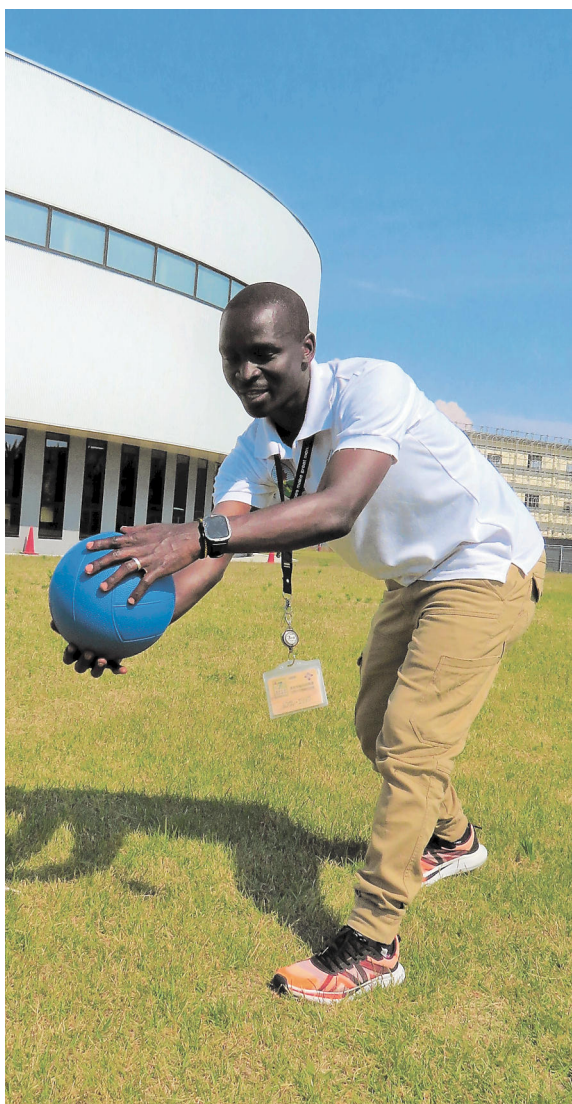


小さい頃から大のスポーツ好き。6歳で陸上とサッカーを始めました。「いたずらする暇もないくらい、練習しました。熱中し過ぎて時間を忘れて、怒られたこともあります」と笑います。100メートルの自己ベストは11秒台、サッカーは

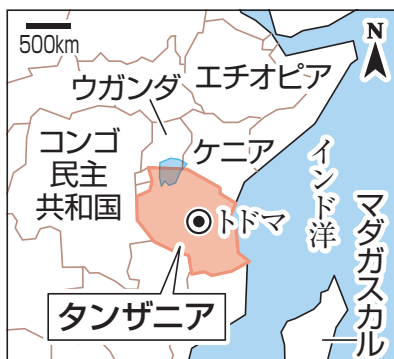
あなたの隣の外国人



目標はゴールボール普及



鈴(すず)が入った練習用のボールを使い、ゴールボールのルールを説明するムフガレさん



大学でも続け、アマチュアリーグで技を磨きました。大学で体育と教育学を学び、タンザニアの政府機関、文化芸術スポーツ省のスポーツ指導員になりました。「10歳のころ、父にスポーツ関連の仕事をした」と言いました。父は夢

をかなえたと喜んでくれました



技術力や指導力のレベルが高い日本に行けば、もっと自分を高められると来日を決意し、昨年8月に長井市に来ました。

雪と、甘くない冷たいお茶に驚いたそう。「初めて雪に触ったときは怖かった。雪が降って、どうやって生き残ろうかと思っただけ。お茶は人生初の味でした」とムフガレさんは言います。

「元気？」 「大丈夫？」。会う度に声をかけてくれる人々に支えられているそう。目標は、母国で普及している目が不自由な人のための球技「ゴールボール」を、長井でも広めることです。

「人と比べず、自分に集中する。あきらめないで自分の夢をかなえてほしい」と、子どもたちにメッセージを送ります。視力に関係なく、みんな一緒にゴールボールをできるようにすれば、きっと楽しいね。

今週の注目ニュース

◇7月3日(水) 新紙幣を発行

日本銀行が20年ぶりに新紙幣3種類を発行します。表面の肖像は1万円札が実業家・渋沢栄一、5千円札が教育家・津田梅子、千円札が微生物学者・北里柴三郎。今までの紙幣も引き続き使うことができます。

きょうの紙面

- 2面 わくわくインタビュー
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ